

2022 年春闘 働くみんなの要求アンケート最終 結果

2022 年 3 月 1 日
日本医労連調査政策局

■集約数

2022 年春闘 働くみんなの要求アンケートを 1 月末に集約を締め切りました。今回 Google フォームを使っのアンケート集約も実施しました。合計配布数は、91,871 枚で集約数は 54,045 (昨年 55,856) 人分でした (以下、カッコ内は昨年比)。

また、単純集計結果のみが送られてきたため集計に反映できなかったものが 330 人分ありました。

■性別

男性 21.2%、女性 78.1%、どちらでもない 0.5%、NA0.3%

■年齢

年齢分布については、20 代～50 代までほぼ 20%台であり、例年通り平準化しています。

■雇用

正職員 80.0%、フルタイム無期 1.9%、フルタイム有期 2.2%、パート・臨時 12.7%、派遣 0.4%、個人請負・業務委託 0.1%、継続雇用 1.6%、その他 0.6%と圧倒的に正職員が占め、非正規職員の回答集約を広げることが課題となっています。

■組合加入

「加入している」80.5%、「組合はあるが加入していない」は 12.7%となっています。「組合はない」と答えた人、組合があるかどうか「わからない」人を合わせると 3.7%いました。

■職種

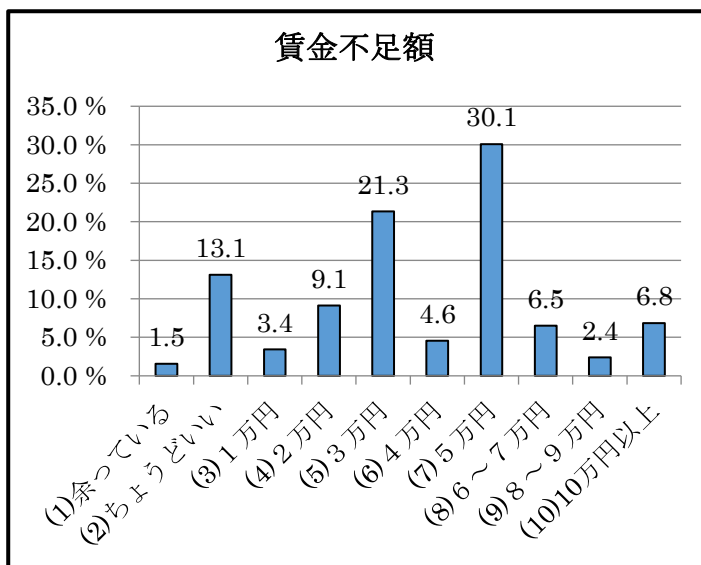
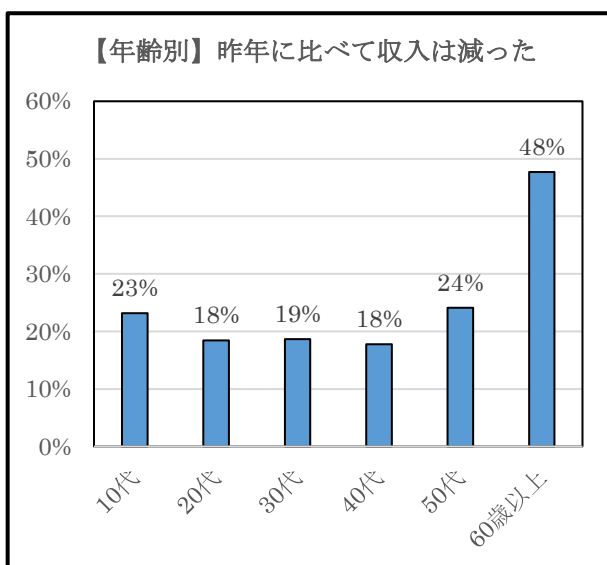
「看護職」が 46.4%と約半数を占め、「医療技術職」17.9%、「介護職」12.3%、「事務職」11.5%「技能・労務職 (助手含む)」4.6%で、「保育士」は 1.1%、「医師」0.5%でした。

■設問1（1）生活実感

「かなり苦しい」11.1%、「やや苦しい」40.1%とあわせて51.2%が苦しいと答えています。

■設問1（2）収入（年間）の前年比較

「増えた」が21.5%（20.3）、「変わらない」56.1%（52.5）となっています。「減った」21.8%（26.5）でした。また「減った」と回答した中で、50代で24%、定年再雇用など60歳以上で48%となっています。



■設問1（3）生活実感からの不足額

「5万円」30.1%（29.9）と最高値で、次いで「3万円」21.3%（21.8）となり、昨年と比較すると余っている・ちょうどいいを含め1万円から4万円までの回答が若干減る一方で、5万円から10万円以上不足しているという回答が増える結果となりました。

加重平均 39,556.9円（38,683.0円）で昨年より873.9円不足額が増大しています。

■設問1（4）生活実感から一番の負担感

全体平均で見ると第1位が「税・社会保険料」22.4%（22.8）、第2位で「住居費」22.3%（23.4）1位と2位が入れ替わりました。第3位「学費（子供の教育費・研修費・教材費・保育料など）」16.7%（17.1）、第4位「食費」15.5%（14.9）と例年通りの順位となっています。

年齢別にみると「税・社会保険料」については、ほぼすべての年代で2割台ですが、「学費」については40代が3割を超え、50代も2割台と高くなっている点を踏まえると、子どもの教育費がかかる世代で高値になっていることがうかがえます。

また「奨学金の返済」が20代では第4位（3位）で、全世代の中で比較すると第1位になっており、若年層を苦しめている状況がみてとれます。

| | 単純集計 | 【年齢別】生活実感から一番の負担感 | | | | | |
|----------------------------|-------|-------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60歳以上 |
| (1)食費 | 15.5% | 20.4% | 15.4% | 14.8% | 14.9% | 14.2% | 22.7% |
| (2)住居費 | 22.4% | 15.7% | 27.3% | 28.7% | 18.1% | 18.5% | 14.9% |
| (3)水道・光熱費 | 5.2% | 2.8% | 3.8% | 4.2% | 4.5% | 6.6% | 11.1% |
| (4)医療・介護費 | 3.9% | 4.6% | 2.4% | 2.5% | 3.0% | 5.6% | 10.4% |
| (5)交通費(自動車の維持費も含む) | 6.9% | 12.0% | 10.8% | 7.0% | 5.2% | 5.1% | 6.4% |
| (6)通信費 | 1.6% | 1.9% | 1.3% | 1.4% | 1.9% | 1.9% | 1.5% |
| (7)学費(子供の教育費・研修・教材費・保育料など) | 16.7% | 11.1% | 2.2% | 12.8% | 31.1% | 22.9% | 2.5% |
| (8)奨学金の返済 | 4.5% | 12.0% | 13.7% | 4.2% | 0.7% | 1.6% | 0.9% |
| (9)税・社会保険料 | 22.4% | 17.6% | 22.7% | 23.7% | 19.8% | 22.4% | 27.1% |

■設問 1 (5) 月額賃金要求

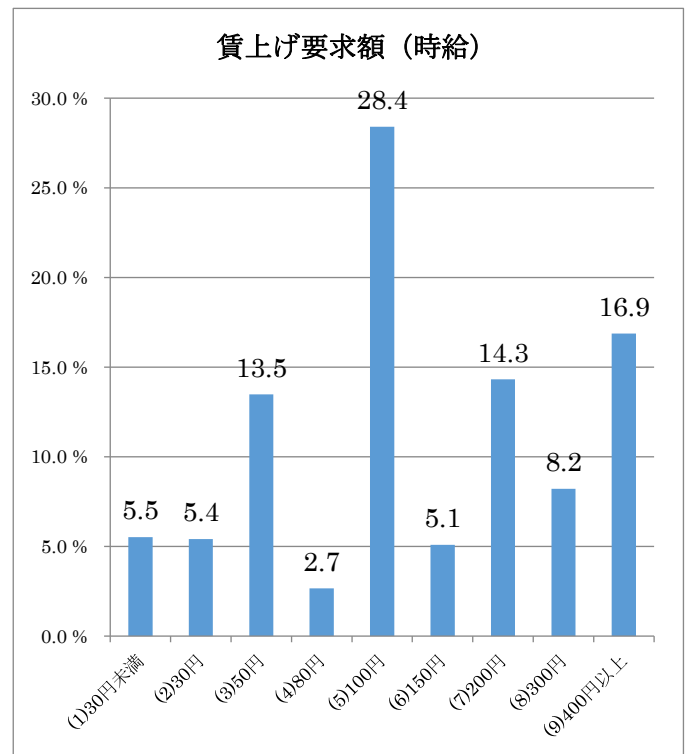
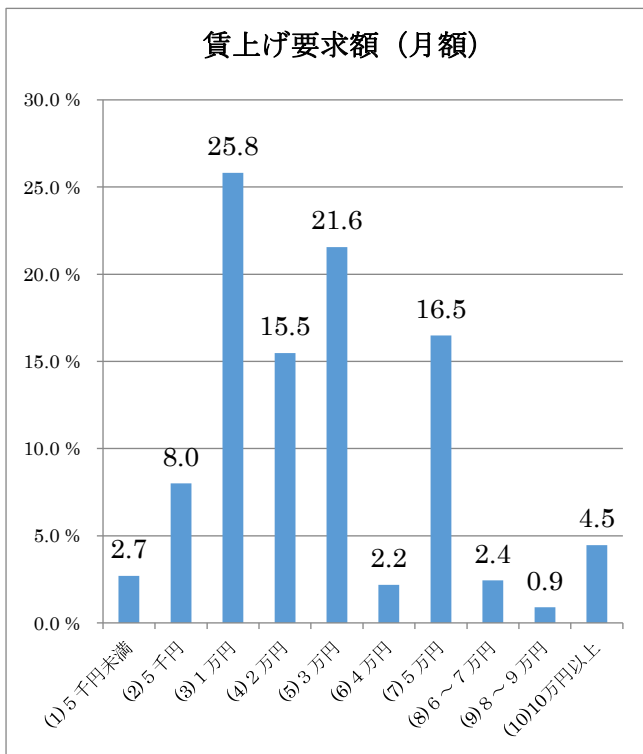
賃上げ要求額としては、「1万円」25.9% (26.9) と一番高く、次いで「3万円」21.5% (21.1)、「5万円」16.4% (15.9)、「2万円」15.4% (15.2) の順となっています。

加重平均で 29,230.8.0 円 (28,392.4 円) となり、昨年より 838.4 円高い要求となっています。

■設問 1 (7) 時間額賃金要求

「100円」28.4% (30.8)、「50円」13.5% (15.5)、「200円」14.2% (13.8)、「400円以上」16.8% (13.7) に集中しています。

加重平均で 176.60 円 (163.41 円) となり、前年より 13 円高い要求となっています。



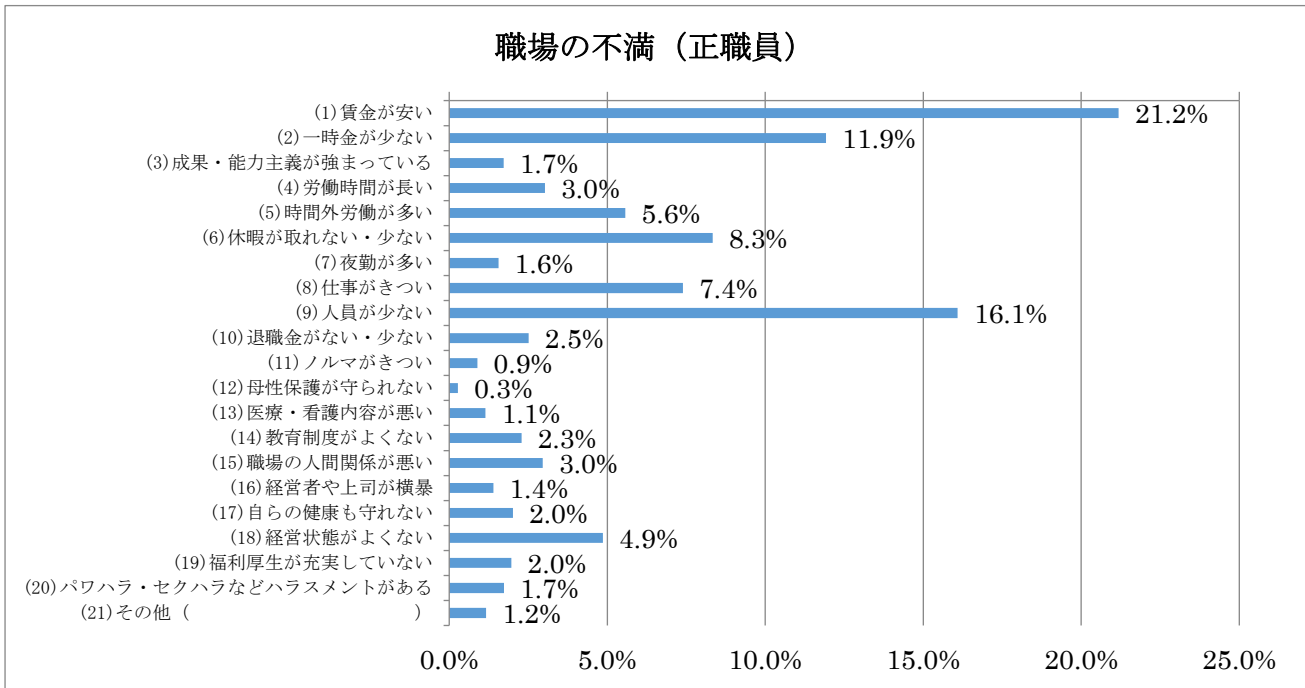
■設問 2 (1) 疲れ具合

「とても疲れる」46.1% (44.0)、「やや疲れる」47.5% (49.0) あわせて、93.6% (93.0) が「疲れる」と回答しています。

■設問3（1・2）職場の不満（正職員）

正規職員の職場の不満では「賃金が安い」が不動のトップで、21.2%（20.1）と2割を超えています。特に20代で27%、10代で25%・30代で23%と仕事を求められる若い世代で非常に高くなっています。

また、「人員が少ない」16.1%、「一時金が少ない」11.9%と続き、全世代にわたって共通の不満となっています。

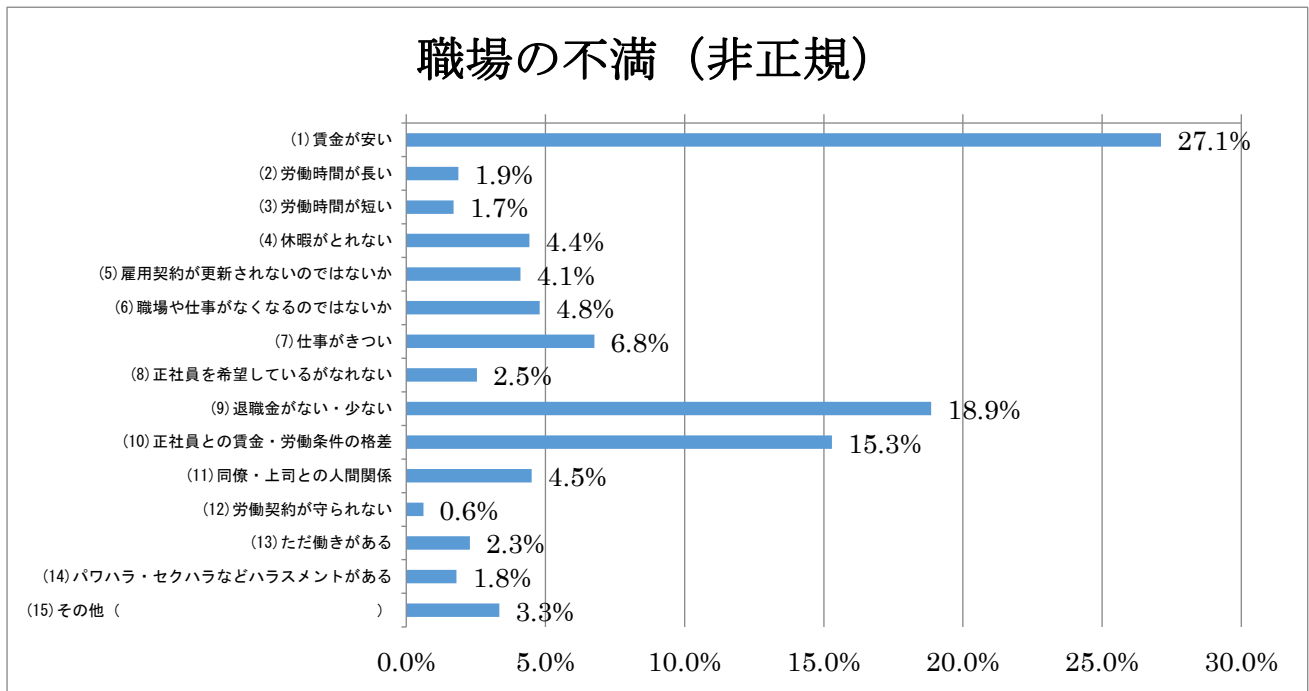


| | 単純集計 | 【年齢別】職場の不満（正職員） | | | | | |
|--------------------|-------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60歳以上 |
| (1) 賃金が安い | 21.2% | 25.4% | 27.4% | 22.6% | 18.6% | 16.1% | 19.3% |
| (2) 一時金が少ない | 11.9% | 9.4% | 10.0% | 12.2% | 12.4% | 13.8% | 15.2% |
| (3) 成果・能力主義が強まっている | 1.7% | 2.8% | 1.2% | 1.5% | 2.0% | 2.4% | 2.2% |
| (4) 労働時間が長い | 3.0% | 3.8% | 3.5% | 2.7% | 3.0% | 3.1% | 2.5% |
| (5) 時間外労働が多い | 5.6% | 5.2% | 7.8% | 5.2% | 5.1% | 4.4% | 2.7% |
| (6) 休暇が取れない・少ない | 8.3% | 8.9% | 7.1% | 7.8% | 9.3% | 9.8% | 8.4% |
| (7) 夜勤が多い | 1.6% | 0.9% | 1.7% | 1.6% | 1.5% | 1.5% | 1.1% |
| (8) 仕事がつらい | 7.4% | 7.0% | 8.6% | 7.1% | 7.0% | 7.4% | 6.0% |
| (9) 人員が少ない | 16.1% | 14.1% | 16.1% | 16.0% | 16.6% | 16.6% | 15.2% |
| (10) 退職金がない・少ない | 2.5% | 2.3% | 1.6% | 2.1% | 2.6% | 4.2% | 5.8% |
| (11) ノルマがつらい | 0.9% | 0.9% | 0.7% | 0.8% | 1.1% | 1.0% | 1.1% |
| (12) 母性保護が守られない | 0.3% | 0.5% | 0.2% | 0.5% | 0.2% | 0.2% | 0.0% |
| (13) 医療・看護内容が悪い | 1.1% | 0.5% | 0.8% | 1.4% | 1.4% | 1.0% | 1.0% |
| (14) 教育制度がよくない | 2.3% | 0.9% | 2.0% | 2.9% | 2.5% | 1.7% | 1.8% |
| (15) 職場の人間関係が悪い | 3.0% | 3.3% | 2.6% | 3.0% | 3.2% | 3.2% | 3.4% |
| (16) 経営者や上司が横暴 | 1.4% | 1.4% | 0.9% | 1.6% | 1.7% | 1.4% | 1.3% |
| (17) 自らの健康も守れない | 2.0% | 1.4% | 1.5% | 1.8% | 2.2% | 2.9% | 1.9% |
| (18) 経営状態がよくない | 4.9% | 4.2% | 3.3% | 5.5% | 5.6% | 5.1% | 6.5% |
| (19) 福利厚生が充実していない | 2.0% | 3.3% | 1.9% | 1.9% | 1.9% | 2.2% | 3.0% |
| (20) その他 | 1.7% | 3.8% | 1.1% | 1.8% | 2.0% | 2.1% | 1.7% |

職場の不満（非正規）

非正規職員の不満では、「賃金安い」27.1%（25.8）が正職員同様にトップとなり、それを引き上げているのが再雇用者などの60歳以上の職員で31.1%となっています。再雇用になって極端に賃金が減ったことに対する不満が大きいことがうかがえます。また、20代・30代・40代・50代については、約24.9～36.8%と全世代において、どの不満より高くなっています。

次いで「退職金が少ない（ない）」18.9%、「正職員との格差」15.3%の順になります。50代までで比較すると、年齢が高くなるにつれ不満の数字が上がっています。一定の経験を積み仕事の内容もほぼ正職員と同じような状況の中で、賃金・労働条件の違いに不満を感じていることがうかがえます。



| | 単純集計 | 【年齢別】職場の不満（非正規職員） | | | | | |
|-----------------------|-------|-------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60歳以上 |
| (1) 賃金が高い | 27.1% | 36.8% | 27.4% | 28.7% | 26.7% | 24.9% | 31.1% |
| (2) 労働時間が長い | 3.3% | 0.0% | 10.0% | 1.7% | 1.7% | 1.7% | 2.3% |
| (3) 労働時間が短い | 3.0% | 15.8% | 1.2% | 1.7% | 1.9% | 1.7% | 1.5% |
| (4) 休暇がとれない | 7.7% | 10.5% | 3.5% | 3.8% | 4.0% | 5.0% | 5.2% |
| (5) 雇用契約が更新されないのではないか | 7.1% | 0.0% | 7.8% | 4.1% | 3.9% | 4.0% | 4.7% |
| (6) 職場や仕事なくなるのではないか | 8.3% | 5.3% | 7.1% | 4.2% | 4.9% | 5.3% | 4.9% |
| (7) 仕事がつい | 11.7% | 15.8% | 1.7% | 6.4% | 6.9% | 7.0% | 7.1% |
| (8) 正社員を希望しているがなれない | 4.4% | 0.0% | 8.6% | 4.3% | 3.7% | 2.6% | 0.3% |
| (9) 退職金がない・少ない | 32.8% | 0.0% | 16.1% | 18.4% | 21.1% | 23.2% | 16.5% |
| (10) 正社員との賃金・労働条件の格差 | 26.6% | 5.3% | 1.6% | 15.8% | 16.2% | 15.1% | 17.0% |
| (11) 同僚・上司との人間関係 | 7.8% | 10.5% | 0.7% | 5.3% | 4.5% | 4.6% | 4.5% |
| (12) 労働契約が守られない | 1.1% | 0.0% | 0.2% | 1.0% | 0.5% | 0.7% | 0.5% |
| (13) ただ働きがある | 4.0% | 0.0% | 0.8% | 2.4% | 2.1% | 2.3% | 2.6% |
| (14) その他 | 3.1% | 0.0% | 2.0% | 2.1% | 1.9% | 2.0% | 1.7% |

■設問4 政府への要求

第1位は「医療・介護・保育の充実」18.1%（19.5）、次いで「最低賃金引き上げ・地域間格差の解消」18.0%（15.7）、「消費税増税中止、大企業・富裕層への課税強化」12.1%（11.0）、「年金・生活保護制度の拡充」9.5%（10.0）と続いています。

新型コロナウイルス感染拡大が収まる気配をみせない中、「医療・介護・保育の充実」が1.4%引き下がったものの1位、「最低賃金引き上げ」が2位となっています。

自由記入欄の「VOICE!」には3,111人分を集約、「給与は変わらないが、物価はどんどん上がっていく。働いても生活が苦しい」「コロナ病棟以外に負担がかかっている」「緊張や疲労でくたくたでストレスがたまっている」「看護師はもう疲れ切っているのに、これからますます人員削減されていく」などの声が寄せられています。

22春闘では、全労連のめざす「全国一律最低賃金制度」実現の運動に結集することと併せ、看護師と介護職を対象とした「処遇改善事業」を活用して大幅賃上げを必ず勝ち取ることを求められます。

